

平成 26 年度第 1 回才の木前橋木育講座（2014 年 9 月 16 日）

食品用木製容器の歴史

森林総合研究所木材特性研究領域 高野 勉

1. 木製容器の歴史

縄文時代：^{くりもの}刳物、弥生・古墳時代以降：^{まげもの}曲物

^{のこ}鋸や^{かん}鉋などの工具の歴史との関連

2. 食品容器への板の利用

繰り返し利用：樽、桶、ワッパ、メンパ（たとえば、入山（草津）メンパ）

使い捨て：経木、折り箱、竹の皮、木の葉

3. 群馬県の経木産業（かつて、関東一の生産量）

明治元年（1868 年） 金子安五郎（新田郡笠懸村）

明治 40 年 小川喜太郎（前橋） 「上州へぎ」

昭和 群馬県経木屋根板工業組合→群馬県経木組合→群馬県経木協同組合
→群馬県経木工業組合

4. 現在の使い捨て木製容器の例と製造工程

お土産用容器、折り箱など

5. 木製単層トレイの開発

プラスチック容器に代わる木製の

安価な使い捨て容器の開発

製造工程、原料、製品の特長

- ・薄板 1 枚から成型（接着剤なし）
- ・林地残材の利用
- ・低製造エネルギー



6. 木製トレイ製造に関連した技術の紹介

木材の熱可塑性と大変形曲げ木→家具など、製品の実例